

令和8年（2026年）9月24日

熊本県産業技術センター

40年にわたるセルロース系材料の研究開発と 地域産業の発展への貢献により高分子学会フェロー表彰

熊本県産業技術センター 材料・地域資源室 永岡昭二研究参事（熊本大学 研究開発戦略本部 イノベーション推進部門 客員教授を兼任）が、公益社団法人高分子学会よりフェローを授与されました。本称号は、高分子科学の発展に顕著な業績をあげ、今後も貢献が期待される会員に対して授与されるものです。

永岡昭二氏は、40年にわたりセルロースを中心とする多糖類系材料の研究開発を推進して、高分子学会で研究成果を発信してきました。特に、セルロース微細材料の界面制御技術を基盤として、導電性・放熱性・環境調和性に優れた高機能複合材料を創出し、その実用化と産業展開に取り組んできました。また、近年では、全国の公設試験研究機関等によるセルロースナノファイバー複合材料の耐久性評価を主導するとともに、多数の企業との共同研究、技術移転、人材育成を通じて、高分子科学・技術の発展と地域産業の振興に大きく貢献してきました。

上記の貢献が評価され、このたび、2026年度高分子学会フェローとして選出されました。



高分子学会長
上垣外正己氏
(名古屋大学教授)

熊本県産業技術センター
永岡昭二氏

